

胸部筋膜のパパゲーによる解放

重要さの理由

力無い背中の問題をたびたび取り上げる。

頸背部、上背部の解放には力を入れるのが通例であるが、頭部、胸部筋膜のことが余り考えられていない。重篤なもの、長期の治療においては、これを忘れてはならない。

さっぱり猫背が治らない、などとなる。

操作事例

Sさん、心窩が苦しい、胸のあたりが苦しい、前屈すると腰が寒い。

- ① 前腕上部から音を入れる。そしてゲーと胸部を押す。音が聞こえる。
- ② 拍手の後、おとがい筋に軽く触れながら胸部をゲーと押す。やはり音あり。
- ③ 腕を側方に広げ、指をつかんで支える。そして、手、前腕、上腕をパチパチパチとたたいて行って、すぐ胸部をゲーと押す。ほぐれ音で確かめるのは①、②と同様である。

見ると、胸部筋膜一帯が赤くなってきた。骨膜も動いている。

なお、これらに先立ち、足などの解放を行っている。

①、②についてはビデオ参照。